

支援を求め続けて来たことによるものです。

共産党も、新型コロナウイルス対策として「1000億円超の基金を活用し、区独自に区民への支援をすべき」と繰り返し求めて来ましたが、それが実ったものです。

声を上げれば政治は動きます。引き続き家賃など固定費の補助等、さまざまな直接支援の実現など、暮らし・営業の応援のために頑張ります。

おくの晋治は厚生委員会と行政改革特別委員会に所属

厚生委員会では、介護保険、障害者福祉の充実、また国保や特養ホームな

ど、皆さんの運動と力を合わせて全力で取り組みたいと思います。行政改革特別委員会にも多くの課題があります。

皆さんのご意見やご要望をどんどんお寄せください。

第2次補正予算ではPCR検査センターが実現

子どもへの昼食代、介護労働者等への支援金なども実現

5月12日、臨時区議会が行われ、既に給付手続きの始まった1人10万円の特別定額給付金の他、区独自に予算化したPCR検査センター運営費や

子どもの昼食代補助、介護労働者への支援金などの第2次補正予算が全会一致で可決されました。

品川区は、5月12日からPCR検査センターを医師会に委託し開設。週3回・一日2時間（13時半～）、検査数20件を完全予約制で行っています。

検査の流れは、①かかりつけ医に電話で相談、②ドクターが検査が必要と判断したら予約センターに直接予約、③PCR検査センターで検査、④結果は翌日、⑤陽性となった場合、保健所が民間の救急車で医療機関に搬送、⑥そこで入院か施設での隔離となるかを決めると

のことです。

PCR検査が必要かどうかの判断は、あくまでもドクターであり、そこに縛りはなくなります。これまで何度も求めてきたPCR検査センターが、品川でもついに実現しました（予算は6559万円）。

無料 生活・法律相談

（日時）

6月24日（水）

午後6時30分～8時30分

（場所）

おくの晋治事務所
（二葉2-13-1）

事前には5742-6818までお電話ください。

都心・品川低空飛行の羽田新ルート計画は撤回を

日本共産党